



健康社会

サステナブル社会

健康メディアデザイン/大学生プロボノによる企業プロモーション



学生の睡眠・食習慣などの生活習慣の乱れが学業に甚大な悪影響を与えている点を課題とし、学生自身の心身を健康メディアととらえ、それらを改善するための新手法の健康PDCAサイクルにより、学生自身のみならず万人向けに睡眠・食習慣改善、集中力向上等を実現するという新領域の健康メディアデザインを探索・実践している。また、デザイン力に優れているメディア学部の専門性を活かし地域の企業・団体のプロモーション支援として大学生プロボノによる地域活性化にも積極的に取り組んでいる。

KEYWORDS 健康メディアデザイン、健康PDCAサイクル、大学生プロボノによる地域活性化

RESEARCHER

メディア学部 メディア学科 准教授 千種康民

<https://www.teu.ac.jp/info/lab/project/media/dep.html?id=90>



主な学会発表・論文・著書・社会活動

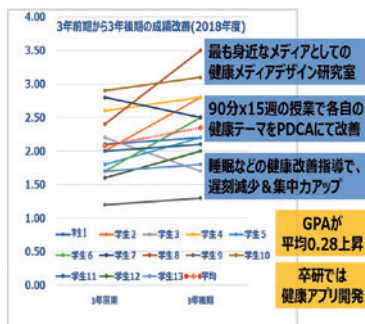
- [1] 黄, 千種, "健康メディアデザインに基づく日動夜動混合のタイムスケジュール支援アプリの開発", 情処全国大会2ZE-07(2022)
- [2] 千種, 矢野, "健康メディアデザインに基づく集中力向上に向けた様々なヘルスケア対策", 信学技報MICT2021-70,(2022年)
- [3] 矢野, 千種, "健康メディアデザインに基づく集中力向上を目指した新しいボモードロ法", 情処全国大会7ZD-03(2022年)
- [4] 千種, 早川, "地域創生と毎回100分完結プロジェクトを特徴とするオンライン・デザイン授業の実践", 信学技報ET2021-58,pp.43-47(2022年)
- [5] 千種, 井上, "健康メディアデザインに基づく座位姿勢の悪化要因分析と改善法に関する研究", FTI2019.0-036(2019年)
- [6] 佐藤, 千種, "環境音と音楽をボモードロテクニクに適用した集中力向上法", 信学技報IE2018-46, pp.13-17(2018年)
- [7] 原田, 千種, "新鮮野菜のICT路地販売「八王子万農王国」", 第9回大学コンソーシアム八王子学生発表会(2017年)

01 健康PDCAサイクルによる集中力改善

健康メディアデザイン研究室に配属された卒研生の配属前後のGPA(成績評価)は平均0.28上昇。ほとんどの学生が配属前は睡眠不良であったが、3年生後期の創成課題(予備卒研)において健康PDCAサイクルにより睡眠改善が達成。

結果、授業時の集中力が向上し、これらの成果が得られたと考えられる。これ以外に眼精疲労、肩こり腰痛・猫背、集中力向上などの改善法でも成果が得られている。

以上の成果は ICT系等デスクワーク中心の従業員についても同様の改善効果が得られると期待される。



02 大学生プロボノによる企業プロモーション

地域の中小企業や市民活動団体などがデザイン力を活用したいケースが多面的にあるが脆弱な資金力のため諦めている課題、大学での演習では学生の優れたデザイン力を活用する点において不十分な課題。

以上の課題解決法として、デザイン力に優れているメディア学部の専門性を活かし地域の企業・団体のプロモーション支援として、様々なデザインプロジェクトをデザインツール canva を活用して100分間で完結させるプログラムを実施中である。既に東京都、八王子市、企業・商店、NPO法人などとのプロジェクト実績が多数ある。

